

NPOと県がともに働くプロジェクト

資料2

■新たな公共の担い手であるNPO等の自由な提案をもとに、NPOや県が単独ではなかなか手の届かなかった地域の課題、効果の上がらなかった課題などをNPO等と県が「協働」で地域の課題解決に取り組むことで、良質な公共サービスの提供を目指す協働のモデル事業

ONPO提案型/県提案型の企画を協働事業化

①NPO提案型

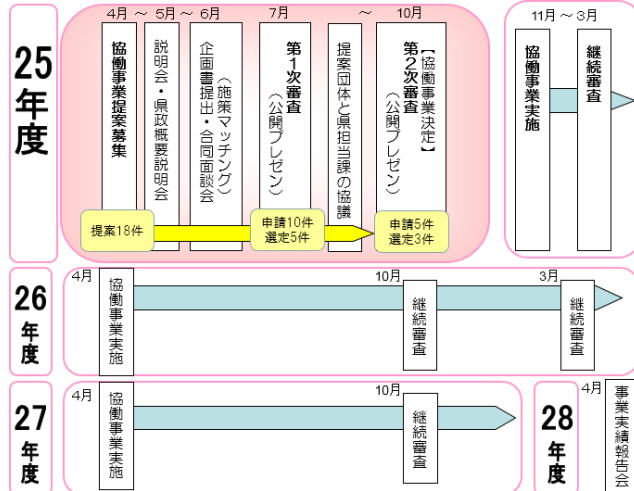
NPO独自の課題提起による企画提案

②県提案型

県の課題提起に対する企画提案
H25年度提案（こども未来課）
「困難を抱える子ども・若者の自立・就労支援協働事業」



【事業スケジュール】（H25年度提案分）



制度の概要

- ◎応募資格
県内のNPO・ボランティア団体
(公益法人や企業等、他団体との合同提案も可能)
- ◎事業期間
約半年間の事業の練り上げ期間を経て、最長2年半実施可能
(ただし、事業の継続審査あり)
- ◎経費負担
NPOと県の双方が事業費を負担
(県負担) 総事業費の9/10以内で、1事業あたり初年度150万円、
2年度目300万円、3年度目300万円を限度
(NPO負担) 総事業費の1/10以上
- ◎NPOと県で新しい組織(実行委員会)を立ち上げ、その組織において
お互いの役割に応じて事業を実施する。
- ◎協働事業の構築から実施まで、県民協働課職員及び協働コーディネーター
(外部の専門家)が随時、事業をサポートする。
- ◎事業の結果だけでなく、事業審査会、中間報告会、継続審査会など可能な
限り情報公開を行う。

平成25年度「NPOと県がともに働くプロジェクト」決定事業概要

提案事業名	女性特有のがん早期発見啓発およびピアサポート事業【NPO提案】	
提案団体	特定非営利活動法人 葵会	
団体所在地	佐世保市	
事業概要	<p>●女性特有のがん早期発見啓発事業;佐世保市 地域住民に対し、各種交流イベント(ボウリング・フェスタ等)およびキャンペーンを実施。また、集客力の高いイベント(各種祭り・成人式等)に参加、また、大型スーパー・アーケードにて乳がん触診モデルの体験や啓発資料等配布およびキャンペーン周知。期間限定受診と新婚さん・新成人対象のキャンペーンを実施。事業専用のサイトを立ち上げスマートフォンよりアクセス可能にし特に若年齢者の女性に周知を行う。啓発・自己検診DVDを制作し市内小・中・高校、保育園、図書館、地区・町内公民館等に貸出し受益者を増加。</p> <p>●ピアサポート事業;佐世保市 患者とその家族に癒しの場と交流の機会を企画提供(お茶会・各種セミナー等)する。心と身体健康増進イベント(ウォークラリー全市民自由参加型等)を開催。合わせて全市民のがんに対する意識を高めるイベントとする。 専門医や専門職者による講話や相談・支援の実施。</p>	
事業目的	<p>●27年度協働事業終了後は、検診率を現在より10%アップ及び市民のがんに対する意識向上。 ○キャンペーン・イベント等により検診率を上げ乳がんを早期発見、早期社会復帰、死亡者の減少。 ○早期発見による肉体的、精神的、金銭的負担減。 ○検診するのが当たり前という感覚を持つものが過半数を超える状態を目指す。</p>	
県に期待する役割	<p>○企画された啓発活動の広報 ○県が企画実施した健康づくりに関する事業の情報提供 ○がん検診協力企業との連携 ○国モデル事業との連携</p>	
事業費 (単位:千円)	1年目	1,364
	2年目	3,064
	3年目	3,183
	計	7,611
県担当課	医療政策課	

提案事業名	環境マイスターを活かしたエコドライブ&エコカー普及の仕組みづくりと実践【NPO提案】	
提案団体	特定非営利活動法人 環境カウンセリング協会長崎	
団体所在地	長崎市	
事業概要	<p>長崎県下へ「エコドライブ」を普及させるために以下の事業を行う。 ●県民が多く集まる場所で、ブースを設置し、「環境マイスター」が、チラシやドライビングシミュレーターなどを使い、楽しみながら「エコドライブ」に関する説明を行う。 同時に、各自動車販売店がエコカーの展示と説明を行いエコカーの普及につなげる。 (本土地区)H25:6会場、H26:19会場、H27:19会場 (離島地区) H26:5会場、H27: 5会場 計54回実施 ●事業実施前に、各市町、自動車販売店所属の「環境マイスター」、市町地域温暖化対策協議会、地球温暖化防止活動推進員を一同に集めた説明会を開催し、事業への理解を深め、協力体制を構築することにより、将来に向けた地域におけるプラットフォームづくりを目指す。 H25:6会場、H26:15会場 計21回実施</p>	
事業目的	<p>「エコドライブ」の普及のためには、行政が主体となって行う「講習会」では拡がりかけ、多額の費用を要するため、県や市町と民間団体等が協働したネットワークを構築し、持続的なエコドライブの普及を行う。</p>	
県に期待する役割	<p>○市町や市町協議会、地区推進員(約100名)と当NPOとの連絡・調整 ○エコドライブの普及や当事業に関する広報 ○「環境マイスター」と市町や市町協議会、地区推進員との信頼関係の醸成</p>	
事業費 (単位:千円)	1年目	1,653
	2年目	3,325
	3年目	3,243
	計	8,221
県担当課	未来環境推進課	

提案事業名	困難を抱える子ども・若者の自立・就労支援協働事業【県提案】	
提案団体	特定非営利活動法人 フリースクールクレイン・ハーバー	
団体所在地	長崎市	
事業概要	<p>●農業における自立支援就労体験トレーニング事業</p> <p>週5日、年間を通じた稲作や野菜づくり、耕作放棄地の開墾作業を行い、農業に関する知識・技術を習得することを通し、若者の自立および就労・就農を支援する。また、就労トレーニング先の多様化を図るために、食料品加工所や販売店、および地域の中小企業へのトレーニング受入についても随時依頼できるように地域の協力体制を構築する。</p> <p>実施場所：長崎市近郊の田畑および食料品加工所、販売店、中小企業(H26 5名・H27 10名の受け入れ。)</p>	
事業目的	○トレーニングの場として、農作業・農産加工(食料)業・販売業を通じた就労体験の場を設けることで社会的自立を促進する。	
県に期待する役割	<p>○県の広報誌等を利用した県民に対する周知・広報</p> <p>○県設置の「子ども・若者総合相談センター」をはじめ、「ひきこもり地域支援センター」、「地域若者サポートステーション」などの関係機関への情報提供および利用者の紹介</p>	
事業費 (単位:千円)	1年目	1,136
	2年目	3,453
	3年目	3,810
	計	8,399
県担当課	こども未来課	